

平成20年度PRTR届出データの
過年度との比較報告書
(速報版)訂正版

平成22年3月



独立行政法人
製品評価技術基盤機構 (N I T E)

はじめに

本報告書は、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE:National Institute of Technology and Evaluation)が、化管法に基づくPRTR届出の最新データと過去のデータを比較したもので、毎年度作成しているものです。その中で、物質ごと、業種ごと、都道府県ごと等様々な観点から、年度ごとの排出量・移動量の推移を解析しています。

従来は時間をかけて報告書を作成していましたが、平成20年度は平成19年度と比べて排出量と移動量が大きく減少していることから、減少要因を解析し、速報版として早い段階で公表することとしました。

第1章では、平成20年度と平成19年度を比較し、特に大きく変化した点について特筆しています。

第2章では、平成15年度から平成20年度までの6年間における届出件数、排出量、移動量及び区分別排出・移動量の一部(大気への排出、公共用水域への排出、埋立処分、廃棄物としての移動)について推移を解析しています。

第3章では、平成20年度の大気への排出量の上位3物質(トルエン、キシレン、塩化メチレン)について、6年間の変動の内訳を解析しています。

第4章では、大気への排出量と廃棄物としての移動量を業種別に動向と要因を解析しています。

第5章では、一部の業種について製造出荷額等と比較して、PRTR届出データとの相関を解析しています。

なお、排出量や移動量が大きく変動している事例について記載しているため、従来の報告書よりも内容が限定されています。しかしながら、平成20年度の大きな変化や6年間の推移を知るための参考として、さらに、PRTR届出データの活用の一例として、幅広い関係者の皆様に活用していただければ幸いです。

平成22年3月

独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター